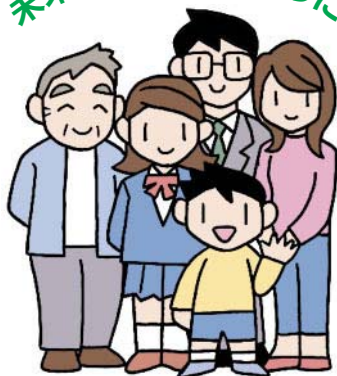


# 人権に関する意識調査結果

未来ある明日のために



あらゆる人権問題について市民の意識を知るアンケート調査を昨年実施しました。その結果がまとまりましたので、調査項目から一部を抜粋してお知らせします。

調査は、昨年、阿蘇市民2,000人（無作為抽出）を対象に行い、回収有効数は1,132人（56.6%）でした。調査にご協力いただきました皆さまには感謝申し上げます。問題解決に向けた的確な取り組みは市民の声なくしてはより具体化できません。よって今回いただきましたご意見を参考にしながら、今後も差別のない明るいまちづくりを進めていきます。

なお、全体の調査内容は、冊子にして市役所ロビーに設置するほか、市のホームページにも掲載していますので、ぜひご利用ください。

あなたは、間違つた認識で人を傷つけてはいませんか

問 たとえばあなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどうされますか。（単数回答）

- ・ 家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、できるだけ理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する（34.3%）
- ・ 自分の意思を貫いて結婚する（19.1%）
- ・ 家族や親戚の反対があれば結婚しない（12.1%）
- ・ 絶対に結婚しない（4.5%）
- ・ わからない（20.8%）
- ・ 不明、無回答（9.3%）

同和地区出身の人と自分との結婚については、「結婚する」という割合が53.4%と約半数となっています。一方「結婚しない」という割合が16.6%でした。また、「わからない」と答えた方が20.8%でした。

これまで、旧町村においても、同和問題の解決を重要課題として位置づけ、さまざまな事業を実施してきました。しかし、今回の結果から依然として「差別意識」が根強く残っていると考えられますので、同和問題に対する正しい理解と認識が市民一人ひとりまで得られるよう進めていきます。

問 関心のある人権問題は何ですか？（複数回答）

- ・ 障害のある人の人権問題（40.5%）
- ・ プライバシーに関する人権問題（35.4%）
- ・ 高齢者の人権問題（32.4%）
- ・ 子どもの人権問題（31.0%）
- ・ 女性の人権問題（27.7%）
- ・ 同和問題（部落差別問題）（26.5%）
- ・ HIV感染者やハンセン病患者などの人権問題（18.5%）
- ・ 外国籍住民の人権問題（在日外国人に関する問題）（9.8%）
- ・ 関心がない（5.4%）
- ・ 不明、無回答（9.4%）

皆さんの関心がある人権問題として、一番多かった回答は「障害のある人の人権問題」、続いて「プライバシーに関する人権問題」「高齢者の人権問題」でした。

残念ながら、どの人権にも「関心がない」と答えた方もあることから、今後、もっと人権問題を身近なものと感じてもらおうよう努めます。

～まとめ～

今回の調査では、24の設問についてお答えいただきました。この結果を踏まえて、人権問題は、単に理解しただけでなく、日常生活において、自らの態度や行動に現れなければ、真の意味での人権尊重の社会実現にはつながらないと考えられます。今後、私たちは人権問題に関して、一層関心を深め、他人事ではなく、自分自身のこととして真摯に受け止め、日常生活の中で実行していく必要があります。市民の皆さまのご理解とご協力をいただけるよう、一層啓発に努めます。